

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和5年度 第7回理事会 議事録

開催日時：令和5年10月11日（水）19：00～21：00

場所：沖臨技事務所（Web 併用）

（参加者）手登根稔会長、山城篤副会長、山内恵副会長、登川雅子理事、国仲伸男理事、立津千絵理事、仲宗根雅司理事、喜納はるみ理事、花木美香理事

（Web 参加者）八幡照幸離島担当理事、宮里泰山副会長、牧志輝理事、喜舎場良香理事、田盛仁事務局長、原国督理事、我如古靖理事、玉城正幸理事、金城正樹理事

（欠席者）宮城和文理事、與那嶺淳理事

（書記）玉城理事

<議題>

1. 沖臨技より

1) 「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」について

- ・第8回：令和5年9月17日（日）9：30～17：30（受付9：00～）受講者56名（県外1名）
- ・10月10日現在：修了者447名（座学履修済者21名、受講中81名）
- ・次回、第9回令和6年2月11日（日）予定。第10回は令和6年8月11日（日）山の日予定
- ・5年計画で10回開催予定。現大学4年次は受講が必要

2) なごみ会主催健康フェア開催報告

- ・日時：令和5年10月1日（日）12：00～16：00（準備10：00～12：00）
- ・場所：沖縄コンベンションセンター展示棟
- ・参加者：約1000名、スタッフ31名（理事15名）
- ・10月16日（月）沖縄県医師会館にてなごみ会県民健康フェア第3回実行委員会があり、実施報告、反省事項について報告予定。
- ・頸動脈エコー検査で約200名中、10名程度異常所見があり、隣の医師会ブースへ繋げることができた。
- ・反省点として、頸動脈エコー検査は長蛇の列が出来てしまい、医師会ブースの受付前を塞ぎご迷惑かけてしまった。次回場所の変更（端へ）等も検討する。
- ・開催時期が10月という事もあり、子供たちが少なかった印象がある（特に中・高校生）。将来の進路を考えてもらうためにも学校関係へのアナウンスも強化できればと思う。来年は8月開催予定とのこと。

3) 全国「検査と健康展」in 南風原 2023 について

- ・日時：令和5年12月3日（日）10：00～15：00
- ・場所：イオン南風原ショッピングセンター 1F イベント広場
- ・後援依頼書、協力依頼書送付、参加名簿等準備して11月の定期便に間に合うよう発送予定。
- ・参加協力団体：健康食品管理士会、南西医療器、AVSS（昨年同様）
- ・ポスター・チラシ作成ポスターは去年のデザインを元に。仕上がり次第サンプル提示（田盛理事に依頼）
- ・骨密度計：沖縄メディコ、顕微鏡：猪原商会、中央医療器へ依頼
- ・一般社団法人として公益事業へ資金を今年度も使用しなければならず、新聞広告掲載（約60万円）、ラジオCM（約18万円：20秒30回 単価5,500円）を行うことに決定（参加理事全員承認）、当日ラジオカー呼びたいが平日のみしか対応出来ないとのこと。瀬戸支部長にお願いし、新報開発者の方と具体的

内容を詰める。

- ・一般の方々に「臨床検査技師」の認知度を上げるにはマスコミの利用が必要。一般市民が分かりやすい言葉でラジオコマーシャルのメッセージで伝える事が出来るように。
- ・各ブース4名程度要員が必要。手指消毒体験は第22回微生物部門研修会と重なり、研究班の方が参加不可のため理事で対応したい。
- ・今回も風船配布（バルーンアート）予定。

4) 令和6年沖臨技新年会&祝賀会

- ・日時：令和6年1月28日（日）12：00～14：00
- ・場所：ノホテル沖縄那覇 2F ラーボ
- ・令和5年度臨床検査室責任者会議：同会場にて10：30～11：30に行う予定。

※令和5年度沖縄医事功労者表彰について現在推薦書提出予定（10月20日締め切り）

2. 九州支部より

1) 令和5年度第1回九州支部内連絡会議・学術部門長会議

- ・日時：令和5年10月20日（金）14：00～17：00
- ・会場：ホテルグランデはがくれ 3F 天山
- ・参加者：手登根会長、仲宗根理事、金城和美九州支部臨床一般検査部門長の3名。
- ・学会には瀬戸連盟支部長も参加。旅費は沖臨技より支給。連盟会議は瀬戸支部長と手登根会長が参加予定。

2) 令和5年度日臨技九州支部卒後教育研修会「第22回臨床微生物部門研修会

- ・テーマ「血液培養検査のブラッシュアップ～臨床へ活かす力を身につけよう～」
- ・日時：令和5年12月2日（土）13：00～3日（日）12：30
- ・場所：琉大医学部保健学科棟109号室（1日目：実習）、210教室（2日目：講義）
- ・只今募集中！現在定員60名のところ20名（県外からの参加14名）しか申し込みが無いので、是非呼びかけをお願いしたい（一斉メールを沖臨技会員へ送付済）。
- ・県内に細菌検査室を保有する施設は28施設あり潜在数は確保出来ると思われるため、各技師長宛てに呼びかけたい。県立病院には動員をかける（宮里副会長）。
- ・自己負担（受講料6000円）は発生するが有益な研修会のため是非受けて頂きたい（手登根会長）。

3. 日臨技より

1) 令和5年度第3回日臨技理事会報告

- ・日時：令和5年9月23日（土）8：30～12：00、場所：ステーションコンファレンス川崎にて
- ・省庁等への臨床検査技師の配置：現在12名の臨床検査技師が勤務（元琉大の上地幸平さん：10月1日から厚労省の課長補佐）
- ・ケアマネジャーの受験資格付与の獲得に向けて要望書提出中。
- ・救急救命士による超音波検査の実施要望が上がっているが、医師会・看護協会・日臨技は反対。
- ・現在、認定救急検査技師の認定資格はあるが、救命が入っていない。八戸総合病院の奥沢理事がDrへりで活躍されているがもっと救命の分野にも踏み込んで欲しい。
 - （喜舎場理事）フライトナースもハードルが高いが臨床検査技師だと救急に配置しながらエコー輸血を含めて管理ができないと厳しいかと思われます。
 - （手登根会長）エコーだけでなくマルチな所で関わられるような人材が必要。
- ・国民への臨床検査技師の認知度調査結果：看護師66%、薬剤師62%、救急救命士47%、放射線技師

35%、理学療法士28%、臨床検査技師23%と認知度が低く、特に10～40歳代で低い傾向。SNS等で認知度を上げる必要あり。15年前に岩手医大の諏訪部先生が調査した結果とほとんど変わっていない。

・2040年に向けて、目指す方針は「社会を創る臨床検査技師」多分野での極域確保へ
(滝野専務理事)

・未来構想WG (31～40歳代のメンバー)：Webでブレインストーミング実施

・臨床検査で未来を変えたい

・誰もが憧れる花形職種にしたい。

・次世代を担う人材の育成

・データをもって臨床現場へ(視点は検査室から外へ)

・マルチライセンスの創出(総合医療検査技師)放射線技師業務が出来る検査技師など。

※九州支部からWGメンバーが入っていないため、登川理事を九州から推薦したい(手登根会長)。

<理事会>9:40～12:10

・つくば臨床検査教育研究センターの別室を賃借(精度管理試料等作製で使用)。

・第74回日本医学検査学会について鳥取県と委託契約書を正式に交わす(運営会社：株式会社 幕張メッセに決定)。会場は大阪で開催。

・医療技術部門資格認定と医療管理者資格認定については、(株)医療経営・政策総合研究所と契約締結。

・令和6年度診療報酬改定に向けて要望書を提出

例)末梢血液像(鏡検法)特殊染色加算ペルオキシダーゼ染色やパス染色：27→80点、骨髄染色も点数増やしたい。血小板凝集能：50→1018点(Verify Now)、静脈採血：27→50点、他。細菌分野は増点要望が多かった。

・インボイス制度における取引について：免税事業者との取引について、日臨技としては消費税増税分を日臨技負担で行うこととする。

・4～8月入会者の推移：新入会2729名(前年比99名増)、再入会444名(前年比14名増)、退会者521名(前年比93名増)総会員数が7万人を超えました。沖臨技は900名超える。ぜひ1000名を目指したい。

・共済制度の申請：豪雨災害等(会費免除)：静岡県1名(住宅浸水)、秋田県1名(自家用車浸水)

・IFBLS2026の招致に向けて幕張メッセを視察：10月頃にアイルランドで行われる総会で内定予定。北日本方面で実施する全国学会と抱き合わせで行う方向。

・令和6年度行列ができるスキルアップ研修会(金沢市)：座学は事前にWeb参加+現地15時～18時(全国からの到着時間を考慮)。全国学会の前日に実施。

・各種調査協力施設を各都道府県から前回同様4施設募る(R5年10月～2年間)：大規模施設(500床以上)1施設(琉大)、中規模1(300～500床)1施設(浦添総合)、中規模2(100～300床)1施設、小規模(100床未満)1施設。アンケート協力施設には日臨技より教本を進呈。協力お願いします。

4. 沖縄県臨床検査技師連盟 より

・10月28日(土)西銘幸三郎衆議院議員「日本の未来を語る会」がダブルツリーbyヒルトン那覇首里城にて開催予定(手登根会長、瀬戸支部長、我如古理事3名参加予定)

・佐賀学会時、連盟ブース担当割り当てあり(瀬戸支部長と手登根会長で対応)

5. 会計報告

・9月分報告(新人研修に20万程度使用)。

・県民健康フェアで使用したパーティー代(数万円)の請求が来る予定。

6. その他

- ・(手登根会長) 7月1日より表彰委員長に山城副会長が就任(委嘱状作成)、表彰委員は三役が就任(手登根、宮里、山内、田盛の4名)。
 - ・(山城副会長) 生理検査の業務についてのアンケート調査の協力をお願いしたい。
 - ・(登川理事) 県医師会精度管理報告会の昨年度の参加証を発行願いたい(個人単位の参加証が施設認定で必要)
- (宮里副会長) 日臨技HPからも取得できるが、沖臨技からも発行してもらうようにする。
- ・70周年記念誌は、当初新年会・祝賀会時に配布予定であったが、間に合わないため、次回の県学会時配布に向けて製本調整予定(委員長の山城副会長を中心に進めていく)。
 - ・災害対策マニュアル: 日臨技でもなかなか進んでいない。行政との連携があるため難しい。順調に整備が進んでいる都道府県のアドバイスを九州でもレクチャーを行って欲しいとの要望あり。地震や台風等発生しているため、県とも連携を取りたい。医師会にも聞いてみる。試薬や物品の供給について業者と提携を組む必要がある。とりあえず、たたき台作成に向け担当の牧志理事中心に進めていく。
 - ・1月20~21日の次期リーダー研修会へ田盛事務局長が参加予定(次回は金城理事予定)。

次回、令和5年度第8回理事会: 令和5年11月8日(水) 19:00~ 現地+Web開催の予定

令和5年10月11日

文責: 玉城 正幸